

(様式5)

令和元年度学校運営評価委員評価報告書

学 校 名 湯梨浜町立泊小学校

校 長 名 山 本 洋 介 印

評価日 令和元年2月25日	
評価・提言	学校の所見・改善策等
○全般的に先生方の評価が厳しい。先生方の自己評価の中にCがなく、AとBである。(これは達成しているということにつながるのでAとしても良いと思う。特に、「わかる授業の創造と確かな学力の育成」「ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり」)同時に、教職員一人ひとりのA～Dまでの評価ポイントを再度共通理解しておきたい。 ○協議会の評価は3項目(B・B・A) ○放課後学習に携わっているが、家庭学習も含めて、家庭での最低限のやるべきことをやってほしいと思うときがある。(アンケート回答にあった夏休みの自由研究を他校がなくしているといった意見も含めて) ○グラウンド・ゴルフは、卒業までに6回「潮風の丘とまり」で協会の方と一緒に出来るが、これは泊小学校に在籍しているからである。この体験をずっと積ませてやりたい。 ○しおかぜカフェにさそってもらえる。このことは、たとえ当日参加することができなくてもとても嬉しいことだし、学校と地域のつながりが深まることになる。 ○放課後児童クラブとのつながりは大切だと思う。学校と連携して保護者と先生が児童クラブ迎えの時に相談してもらえると児童クラブの信用も高まることにつながる。	・「ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり」についてはAとし、今後ふるさと学習・地域学習の年間計画をさらに整備し、全校でつながりがある形のを進めていきたい。 ・保護者アンケートに指摘のあった泊小学校ならではの個別対応・個別指導をある程度達成できるところまで進めたい。そのことで、次年度のA評価につなげていきたい。(アンケートの指摘にも挙がっていることもあるので、本年度はB) ・家庭学習については、いい形の取組をしてその成果をカード提出している児童が多い。家庭と連携してこの部分をさらに充実させていきたい。 ・なかよしグラウンド・ゴルフ大会は事前のチーム毎の練習会・あったか言葉の声かけ・協会の方とのつながり等を含めて楽しく誇らしく思える大会となってきた。 ・学校・地域が双方向の関係の取組となってきたように感じている。さらに充実させ、児童の課題解決につなげていきたい。 ・児童クラブと連携しながら、毎日のように保護者と直接話をしている。このことで、問題が生じても迅速な対応ができています。児童の見えない部分の様子も合わせながら指導につなげたい。